

Ⓐ

国語総合

受験番号	
氏名	

問1	ア	後年	イ	著述	ウ	誇張	エ	理不尽	オ	欠如
問2	a	みとう	b	ふじよ	c	じょうせき	d	らいさん	e	ようご
問3	1	d	2	b	3	a	4	d		

問4 貧乏 生活に困るほど貧しいようす

貧困 貧しさのために野獣性、悪性、絶望があること

問5 日本の醜悪な面

問6 当時の写真や文字で知ることができるのは、当時の日常の一端に過ぎず、また、そのほとんどが一度断絶しているから

問7 当時の日本人の心性、生活様式全体

問8 自分たちの記述する。

問9 ① タータンチェックやキルト

② 民族の特性をはつきり示すため

③ 西欧諸国においてナシヨナリズムが高まり、民族的アイデンティティが強く求められたため

問10 西欧社会に画一化を促し、伝統を失わせたため

① 外国人は日本の伝統を守るべきだと言い、日本人は伝統を恥じて壊すべきだと言うギャップ

②	欧米では産業革命による近代文明の発展で、
社会が画一化し、	民族ナショナリズムが高まり、民族的アイデン
テイテイが強く求められた。知識人たちの中	には閉塞感や不信感を抱き日本に残る伝統を
羨むものもいた。だが日本と対等にわ	たり合うため富国強兵をおしすすめ、封建時
代からの伝統を壊す必要があった。このよう	に、このギャップはその時代から生み出された
に、このギャップはその時代から生み出された	状況に對する見解の相違もこのおかげ
であり、その意味で根深いものから生み出された。	

計	問11②	問11①	問10	問9③	問9②	問9①	問8	問7	問6	問5	問4	問3	問2	問1

2020年度一般入試 A日程

— 傾向と対策 —

国語総合

出題のねらい

大学生として必要な読解力と文章力、すなわち、論理的文章を読んで内容や論の組み立てを理解できるか、また、それについての自分の考えを表現する力があるかを問うことを目的として出題しています。ある程度の長さの文章を読んで、文章全体の構成や主旨を正しく理解し、設定された問題に応じて自分の意見をまとめることを要求します。年度によって文学史や文法の問題を出題することもあります。

出題形式・内容（分野）について

例年形式は変わっておらず、3000～4000字程度の文章とそれについての10前後の小設問で構成された大設問が1題というかたちで出題しています。出題範囲は現代文のみで論説文が多く、とくに文化について論じたものが多く出題されています。2020年度A日程では内田宗治氏の『外国人が見た日本』から出題しました。内田氏は経済や旅行などさまざまな分野の文章を書いています。幕末から現代までに来日し、いろいろな日本を見た外国人がそれをどのようにとらえていたのかを分析した著書の中から、「古き良き日本」のとらえ方に大きなギャップがあったことを論じた部分を取り上げました。設問は11問です。基本的な漢字の読み、書き、語の意味を問うものから内容を問うものまで、10問を設定しました。正確に文章を読み取っているかを把握することをねらいとしています。漢字に関しては、大学生としてさまざまな文章を読みこなしていかなければならないと考え、高校までの学習範囲に限らず、一般的なものをも含めて出題しています。長文ではありますが、一つ一つの言葉の意味を押さえながら読み込んでいけば、それほど難しくはないでしょう。問11は、この文章の一番のポイントである「ギャップ」について記述する問題です。「なぜ」「どのような意味で」といった問いかけには、どのように答えればよいかというヒントが隠されています。160字以上220字以内、でまとめることは、試験時間の中では難しいと感じられるかもしれませんが、最初に問題に目を通したうえでポイントを拾っておき、解答に取りかかれば無理ではないはずです。採点はすべて手作業で行っています。

採点後の感想・効果的な学習方法

「出題のねらい」にも書いたとおり、大学生として要求される基本的な読解と表現の力を問う出題ですので、普段からいろいろな文章を読み、考え、書く習慣をつけておくことが大切です。日常生活の中で、ある程度ボリュームのある文章を読む機会が減っていると感じるなら、意識的に新聞や雑誌など紙媒体の文章に触れることを心がけてください。設問の要求することを正確に読み取り、それに答えていくことも必要です。例えば「抜き出し」なのか、自分の言葉で「まとめ」するのか、何字で書くことを要求されているのか、といった「問われたことにきちんと答える」という姿勢がもっとも大切です。繰り返し出てくる表現もキーワードとしてしっかり押さえましょう。字数指定は「抜き出し」でも「まとめ」でも解答するための大きなヒントになります。